

【ねがいましては】

平成16年1月26日

第162-1号

KYOWA SCHOOL

「思い」

一通のFAXが私の手元に届きました。

『13年度は栗田幸雄先生にそろばんはもちろん、そろばん以外にも心にしみ入るお話をさせていただき、すさんだ児童が多いので大変助かりました。2回目の最後の日、車を見送り、又来校して欲しいものだと子ども共々思いました。よろしくお願ひいたします。』

一昨年の2月、都内の区立小学校へ「そろばん派遣講師」として出向した小学校の、当時4年生の担任の先生からのものです。初めての小学校でのそろばん授業に何をしてよいのやら、1クラス2時間という中で、そろばんをはじけるようにするなどとは、考えられるはずもありません。簡単な操作、そして簡単なあんざんなどを体いっぱいに表現して楽しんだ後、給食をご馳走になりました。わいわいがやがや、食べているのかしゃべっているのかわからぬくらいににぎやかな給食。

クラス全体が食べ終わったころ、担任の先生が「栗田先生、何か子ども達にお話しでもありましたらお願ひします。」

私が話せることはただ一つ、この新浜の10畳間で出会った子ども達から戴いてきた「やさしさ、そして思いやり」。そのひとつひとつが「奇跡の出会い」があったからこそであることをお話しさせていただきました。ここにいる皆さんも、その奇跡の中にいること。となりの子、前の子、後ろの子、そして担任の先生に出会えたことが奇跡。宝くじが当たったことよりももっと大きなプレゼントなのだから、「人」…心の底から大切にしてください。と、お願ひをしてきました。

担任の先生がいるにもかかわらず、生意気なことを言ってしまったかなと、ちょっぴり反省しながらも、このKYOWA SCHOOLに通う子達のことを話さずにはいられなかったことを、ちょっぴり嬉しく思いつつ帰りました。

それが今年、指名までされ声をかけていただいたこと。今の私の心中は、不安90%です。どうしよう、どうしよう。ふだん子ども達に「結果など気にするな」と言いながら、ちっとも自分がそれを守っていないことが、何か人間じみていて…。

救いたい、救いたい。それがまず一番に心に現れてしまうのは仕方がないことなのかな。どうしても成績だとかテストの点だとか、上手下手などのことへ気持が動かず、「君、ここは元気ですか。ポカポカしていますか。」と、心の方へ気持が行ってしまうのは、どうやら私から消し去ることが出来ないことのようです。

私の心に一点引っかかる言葉、FAX中の「すさんだ児童が多いので」…。

私ひとりではない、このKYOWA SCHOOLの子たちも、「ポカポカを振りまきに行きたいな。助け合う勉強。助け合う生活。ここがポカポカしてくると、なぜか歩けるんですよねー。」って、きっと言ってくれるはず。

思いは一つ、「こころ」。

ここに通う受験生達も、毎日を精一杯に過ごしているようです。明るさNo.1が売りのムードの中で、入試が始まりました。緊張感が全くないようで、「模擬テストでもやっているようだったよ。」と一言感想。ある子は、「いろんな子たちとおしゃべりしてきちゃった。」…?

さて、これからが本番。私の訪れた小学校は給食であり、にぎやかを通り越えていたけれど、きっと県立の試験では皆、思い思いのお弁当を手に、静かな食事になるんだろうな。口の中はカラカラなのだろうな。

母の思い、これもひとつ。「ひとりぼっちで寂しいお弁当なんだろうなー。」と、思っていただければ100点。「とにかく合格できるようがんばってらっしゃい。」これ「0」点。

思いは一つです。しつこくてすみません。「こころ」です。

こころがとなりにいることです。

お子さんがそっとお弁当箱をあけた時、「にこつ」と笑みがこぼれるようなお弁当。「おかあさん、ありがとう。」と、そつとつぶやくようなお弁当。

そんな「にこつ」…お母さんだから出来るハイテクニックなのです。

そして私も小学校へ行ったとき、わたしならではの「にこつ」をしてもらえるよう精一杯やらせていただこうと思っています。

2月の予定

2月2日（月） 検定試験合格発表

中旬～下旬 くりたのランチ勉強室 予定します。詳しくはお手紙書きます。

中旬～下旬 父母懇談会、予定します。詳しくはお手紙で。